



## いつまでも住み慣れた地域で暮らしつづけるために

第2回 「つぎのくつろぎ」を考える

上野山 裕士

和歌山県有田郡広川町津木（つぎ）地区では、「つぎのくつろぎ」をテーマに、地域住民の皆さんと学生たちがさまざまな活動に取り組んでいます。

広川町といえば、広川ビーチや稲むらの火の物語など、海の街というイメージが強いかもしれませんが、実は町面積の約3分の2は森林であり、津木地区も山間部に位置しています。津木地区での活動は、地域からのご提案をきっかけに、2014年に開始されました。

地域における学生の活動は、①イベントの企画・運営への参加、②地域のPR活動、③地域住民の皆さんとの交流、に大別されます。①については、地域の観光資源であるツギー谷のお花畑などにおける地域主催イベントへの協力のほか、学生主催の「星見る会」はこれまでに4回開催され、恒例のイベントとなりつつあります。また、②については、地域外で開催されるイベント（「市駅"グリーングリーン"プロジェクト」など）に学生が出店し、特産品の販売を通じて地域をPRしています。また昨年度は、広川町を紹介するパンフレットの作成にも取り組みました。最後に、③については、地域の春祭りやお花畑の草抜きなど、さまざまな機会を利用して地域を訪れ、住民の皆さんと交流しています。



地域での活動は今年度で4年目になります。当初は地域の思い（学生にしてもらいたいこと）と学生の思い（自分たちがしたいこと）との間に隔たりがみられることもありましたが、積極的な交流が信頼関係を醸成し、今では住民の皆さんと学生とが地域を盛り上げるよきパートナーとして共に汗を流しています。いわゆる地域活性化は一朝一夕に達成されるものではありませんが、その礎である人と人とのつながりも、ゆっくりと時間をかけて醸成していくことが肝要です。津木地区がすべての人にとって「くつろぎ」を感じられる場となるよう、これからも微力ながらお手伝いをしていきたいと思ひます。

くうえのやま・ゆうじ / 和歌山大学 観光学部

特任助手 / 博士（人間科学）>

第92回 わだいの浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

### 音をとおして関わる

～音楽療法が私たちに気付かせてくれること～

話題提供者 上野 智子（和歌山大学教育学部 准教授） ワーク：上野智子 菅道子（教育学部 教授）

日時 2017年5月17日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 4階 交流ホール

音楽療法の成り立ちやその種類について紹介するとともに、ワークを通して音楽療法的な考え方について共有できたらと思います。※音楽経験の有無は問いません、お気軽にご参加ください。（但し、ワークは、参加人数によって一部の方になる場合があります。ご了承ください。）

わだいの浪切サロンとは？

毎月第3水曜日（2月と8月を除く）の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。申込み不要、参加費無料。

お問合せ先：和歌山大学岸和田サテライトオフィス 〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

TEL & FAX：072-433-0875

岸和田サテライト 検索